

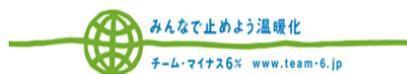
# 業務用一液除錆・防錆兼用剤

\* 強力な錆取りや長期防錆でお困りの方に朗報！

一液タイプで強力に錆の除去と防錆処理が同時に行えます。  
遠赤外線特殊精製水使用により、画期的な浸透力と強力な除錆・防錆効果を発揮

**New** 強力業務用一液除錆・防錆兼用剤；

品名：『イーマ1000』M5



## <特徴>

- ・一液で強力錆の除去と防錆処理が同時に行えます。
- ・遠赤外線放射セラミックにより活性された特殊精製水を使用し優れた浸透力を発揮します。
- ・主成分は「リン酸」及び「食品添加物」を使用。環境に優しく、刺激臭もほとんどありません。
- ・処理後の塗装やメッキの付着性が良好です。
- ・酸化スケールや黒皮・レーザー切断による酸化被膜の除去にも効果があります。
- ・廃液処理費用の削減が可能です。石灰を添加すると肥料(リン酸カルシウム)にして再利用が可能です。

## <用途>

- ・製品・工具などの錆落とし・防錆処理 ・鉄製品の塗装前の下地処理 ・鉄の黒皮除去
- ・ステンレス製品のもらい錆の除去・汚れ落とし
- ・建設仮設材(足場等)のコンクリート除去と除錆・防錆処理
- ・溶接焼け除去や熱処理後のスケール除去 ・熱交換器の清掃(酸化カルシウム除去等)

## <使用方法>

### 浸漬による処理(推奨処理方法)

1. プラスチックもしくはステンレス容器に除錆・防錆剤を入れ(錆の程度により1倍~3倍に希釈)除錆がメインの場合は、浸漬時間は程度により2分~30分、防錆の場合は1分~5分を目安にします。加温(40℃以下)すると処理時間が短縮されます。(錆の程度によって希釈濃度と浸ける時間の調整が必要、調整が悪いと表面に白く粉がふきます。)
2. 処理後は乾いた布で拭くか、自然乾燥もしくは強制乾燥を行ってください。
3. 除錆・防錆剤は繰り返し使用できますが、液が減りますので適時に新しい希釈液を足してください。
4. 落とした錆がスラッジとなって容器の底に浸漬しますので布、ろ紙等又は専用の濾過装置で濾して、こまめに取り除いてください。
5. 浸漬したままにしますと液の効力は弱まり、表面に白く粉がふきます。

### 吹付け・塗布による処理

1. 浸漬出来ないものは吹付け及び塗布でも処理が可能です。
  2. 錆を落としたい部分・錆から守りたい部分に布・紙等で覆い、スプレーや刷毛などで湿らせる。
  3. 錆の程度に合わせて、浸漬処理と同様に希釈濃度と湿潤の状態を保つ時間の調整が必要です。
  4. 湿潤状態を保つために、こまめに状態を確認してください。
- \*アルカリ性の物と混ぜないでください。

<使用濃度> 希釈 1倍~3倍 <容量> 4L・10L缶

